

「世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業」

研究課題: バングラデシュの社会経済的格差  
と労働移動に関する実証的研究:  
境界を越える人々

責任機関: 国立大学法人 山口大学

研究代表者: 人文学部 准教授 山本真弓

実施期間: 平成19年度～平成20年度

# 社会的ニーズ、研究目的、プロジェクト内各調査、成果活用法

社会的ニーズ①  
途上国の経済格差と海外出稼ぎ労働者

社会的ニーズ②  
途上国からの労働者に対する日本の対応

## 研究目的

階層と人的移動のダイナミックな把握  
日本の移民政策策定への貢献

## 2. バングラデシュ農村聞き取り調査

日本からの帰国者へのインタビュー(ダッカ, 出身村)を実施

## 1. 農村悉皆調査

対日移住労働者を輩出しているバングラデシュ農村で悉皆調査を実施

## 連携・情報交換

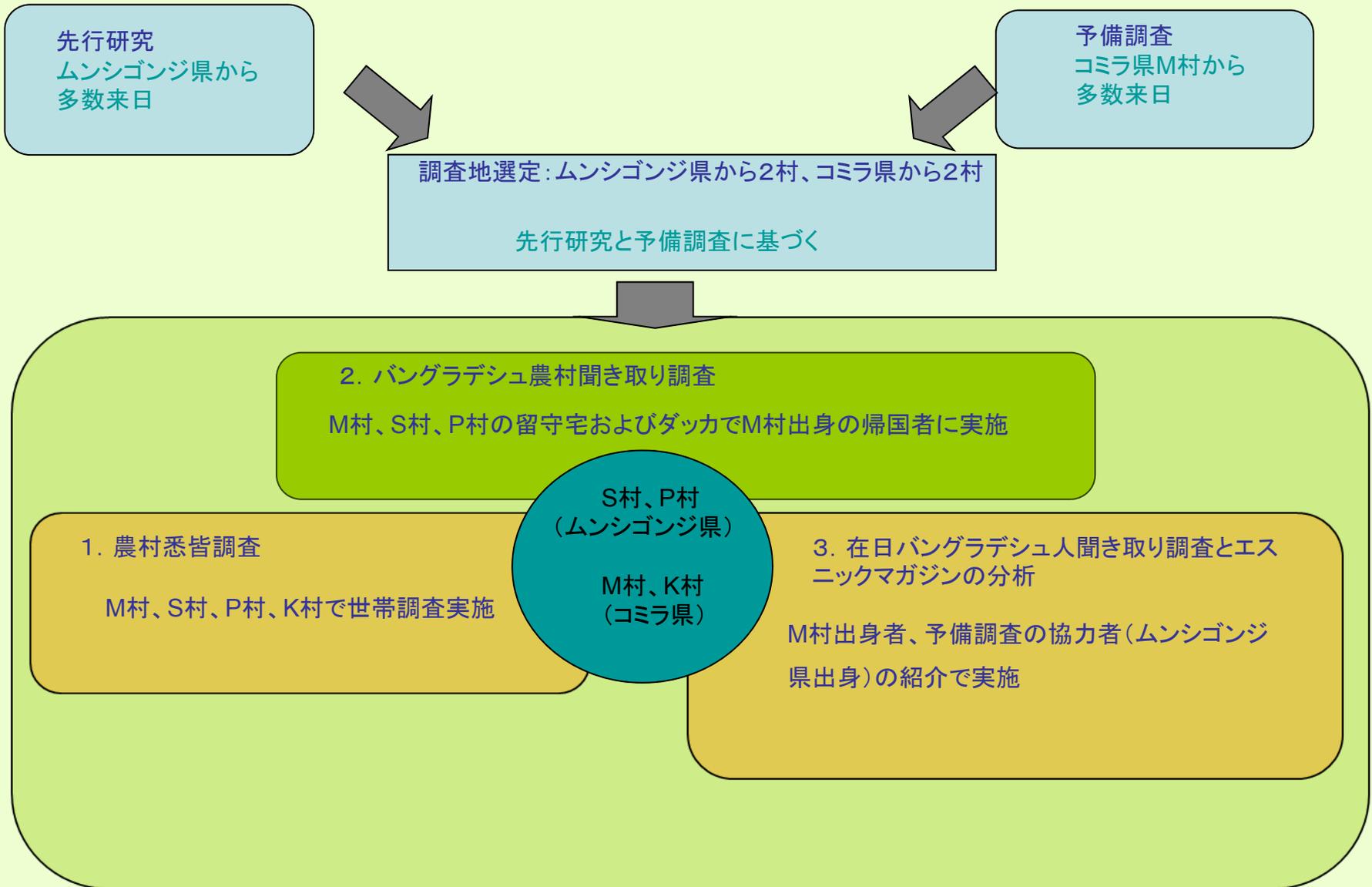
## 3. 在日バングラデシュ人聞き取り調査

首都圏でのインタビューを実施

## 成果が社会に与える効果、活用方法等

- 1) 途上国の経済格差の是正: 援助政策の策定・実施
- 2) 途上国からの移住労働者に対する今後の日本の対応策への提言
- 3) 日本の出入国管理及び多文化共生のための政策作りへの提言

# プロジェクトの全体像(調査結果の有機的結びつき)



# 1. バングラデシュ農村悉皆 調査

M村、S村、P村、K村での  
世帯調査

～一般的傾向とM村の特徴～

# 調査地の位置



# 村の概要

ムンシゴンジ県より2村 P村、S村

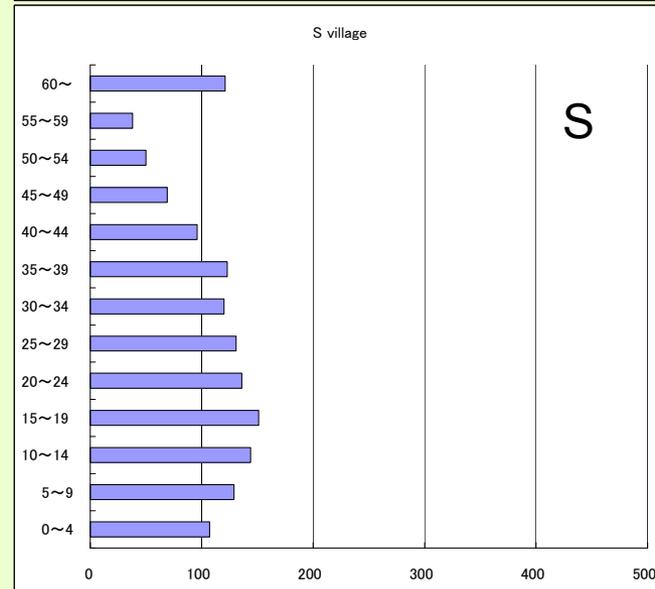
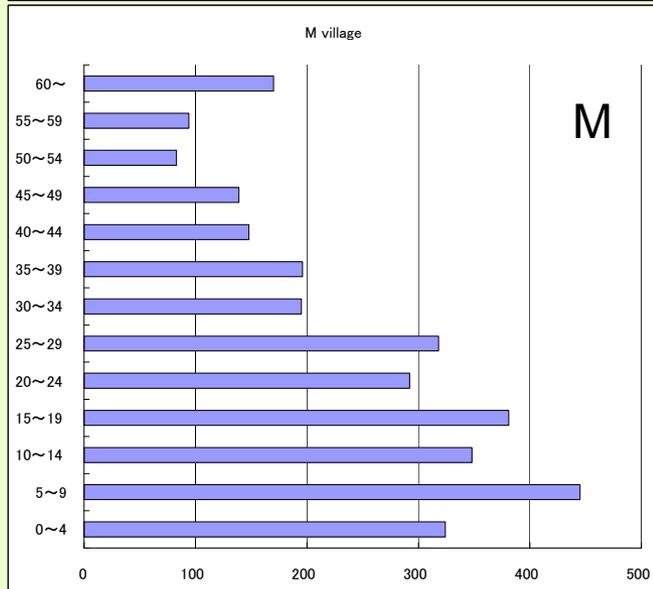
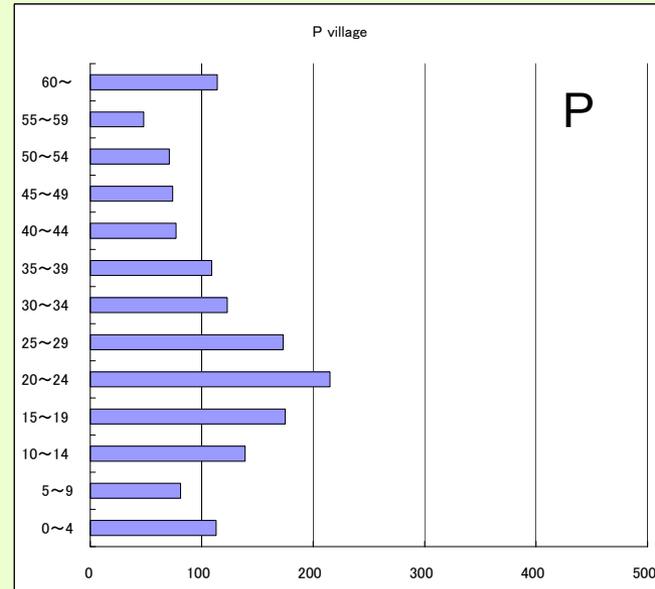
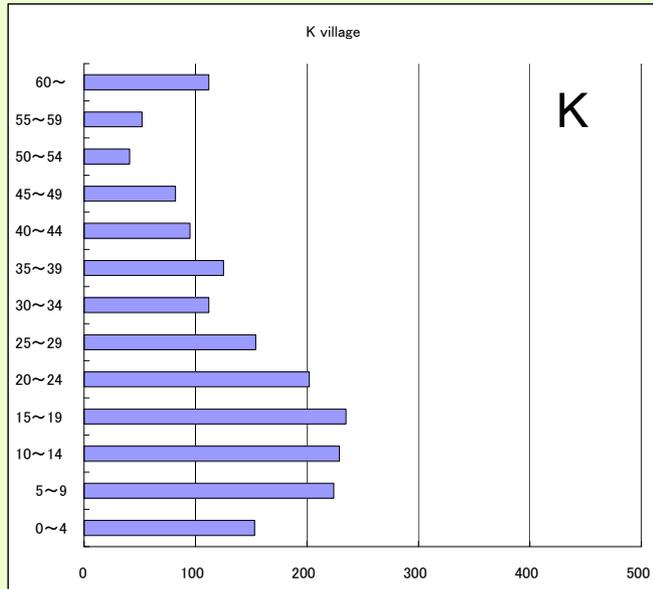
コミラ県より2村 M村、K村

人口、世帯数、年齢別人口構成、教育別人口  
構成

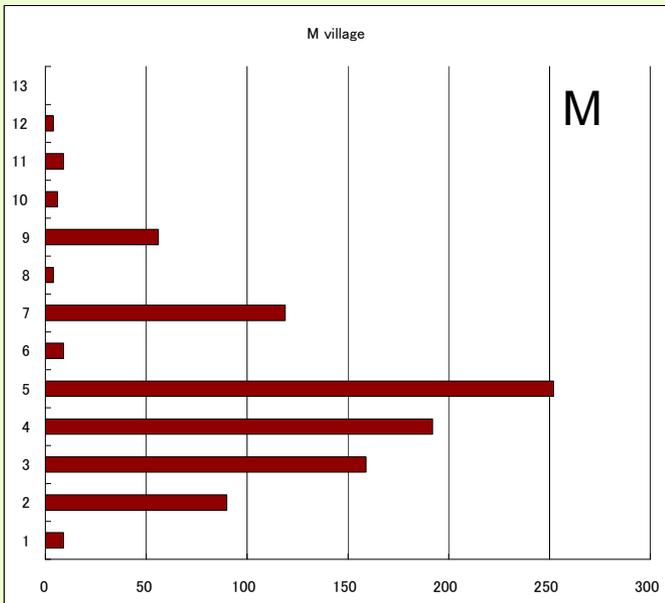
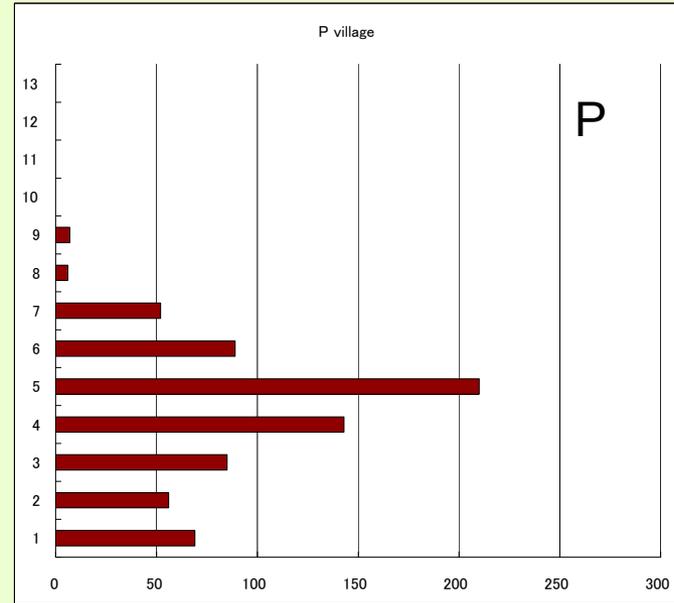
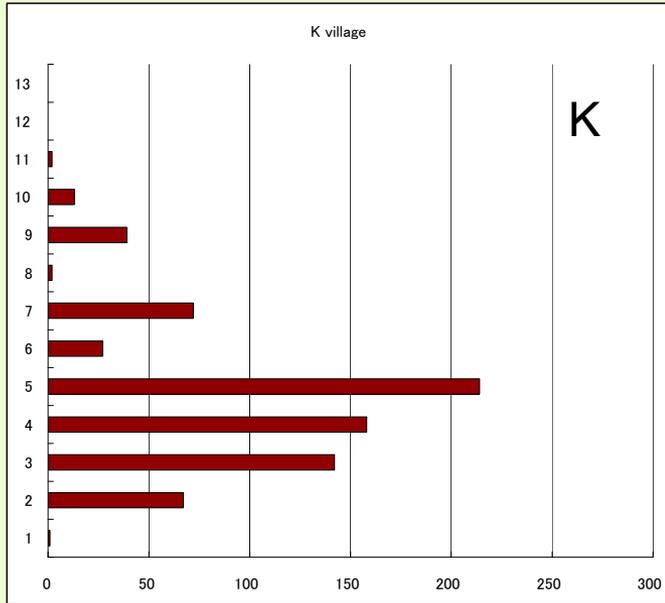
# 人口および世帯数

	K村	M村	P村	S村
人口	1,827	3,446	1,568	1,157
世帯数	274	540	283	272
うちムスリム世帯	247 (90.1%)	522 (96.7%)	277 (97.9%)	245 (90.1%)
うち女性世帯主世帯	39 (14.2%)	57 (10.6%)	36 (12.7%)	38 (14.0%)

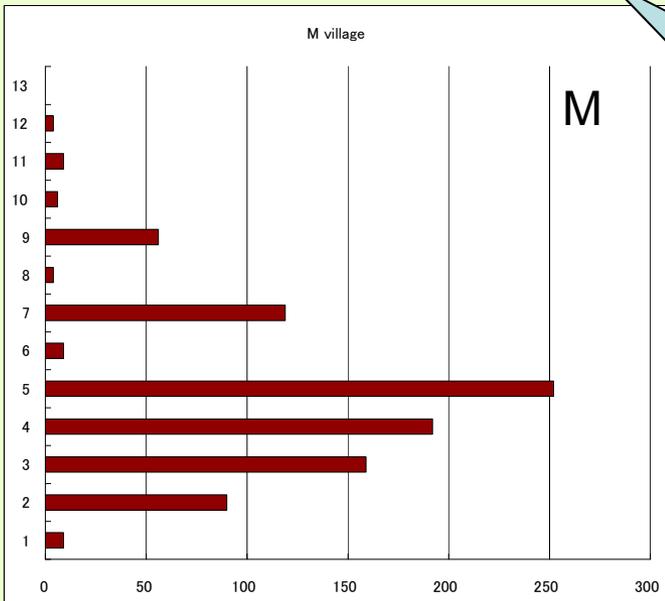
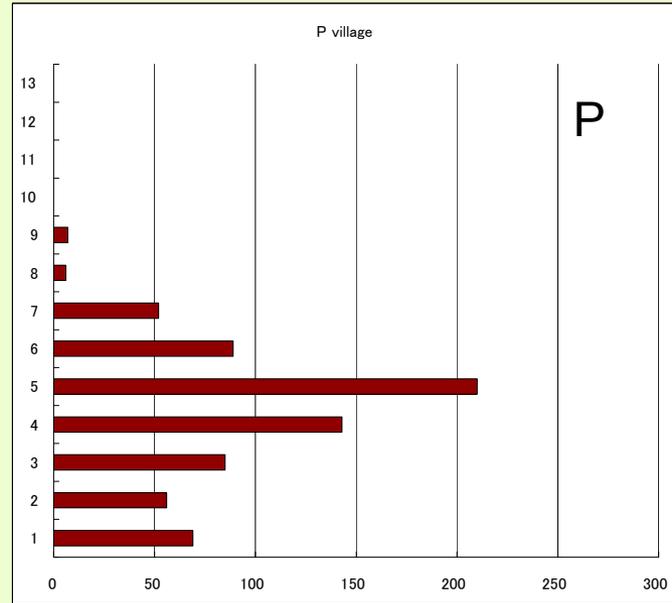
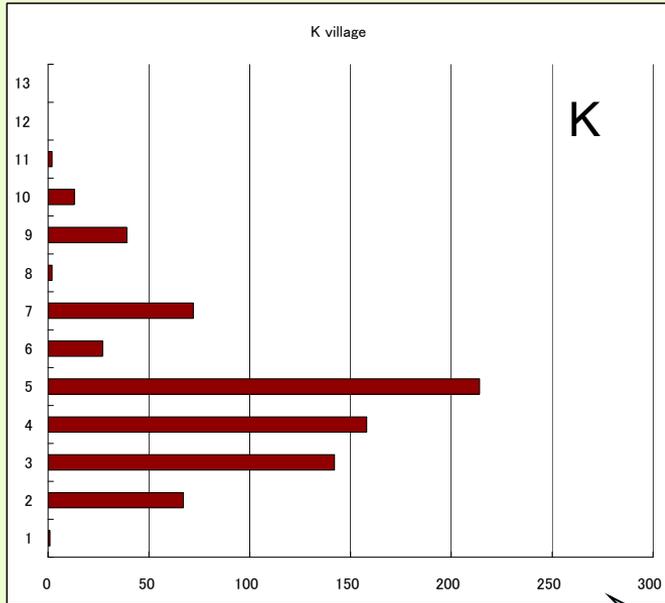
# 年齡別人口構成



# 就学年数别人口構成



# 就学年数別人口構成



教育を受けた年数は、  
5年間がもっとも多い

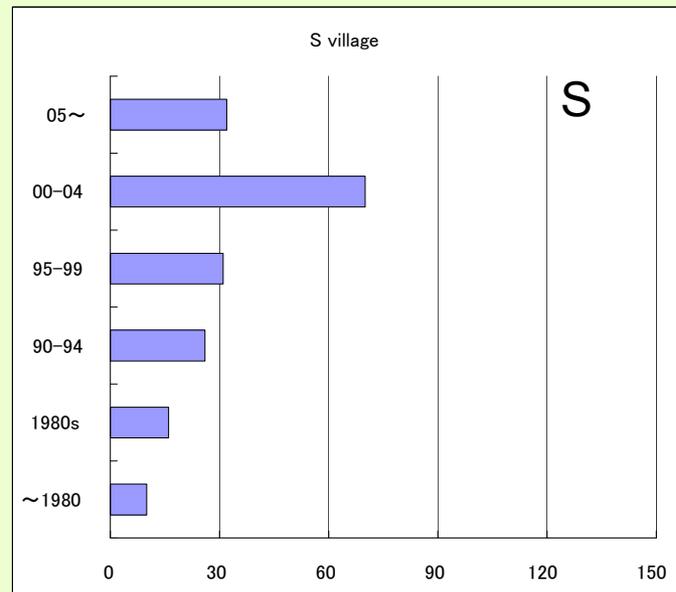
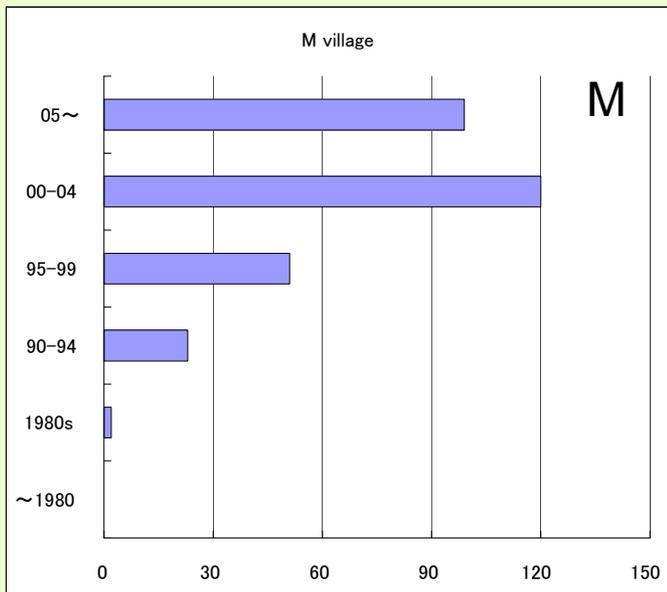
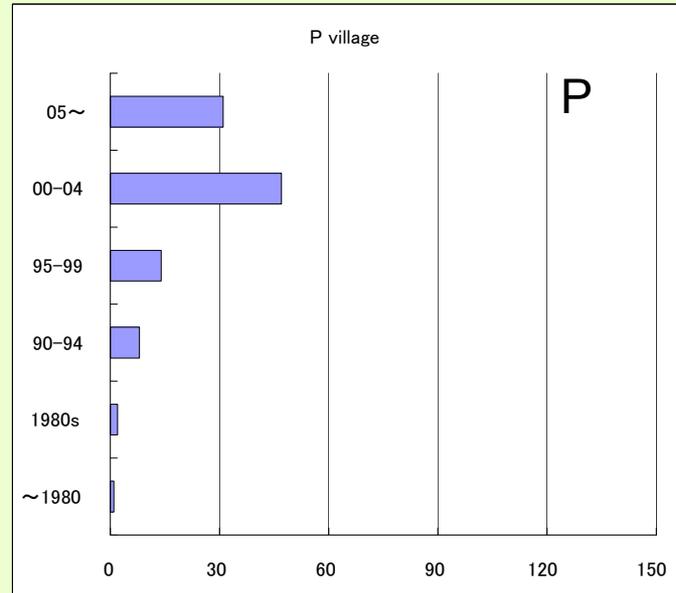
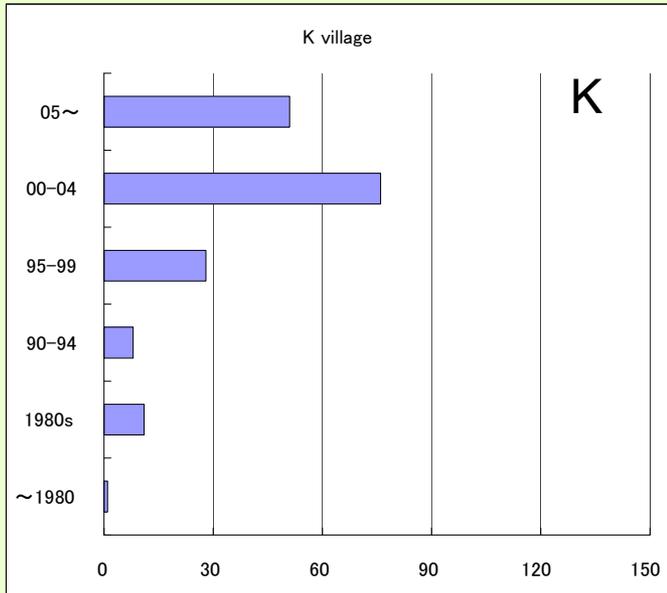
# 出稼ぎ労働者について

出稼ぎに出た年

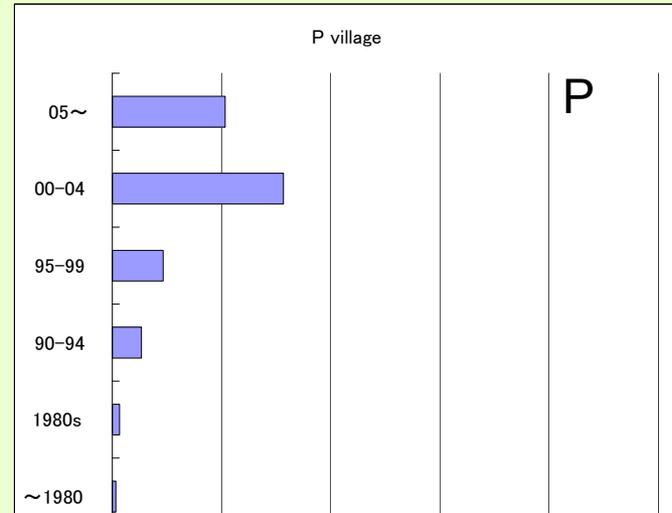
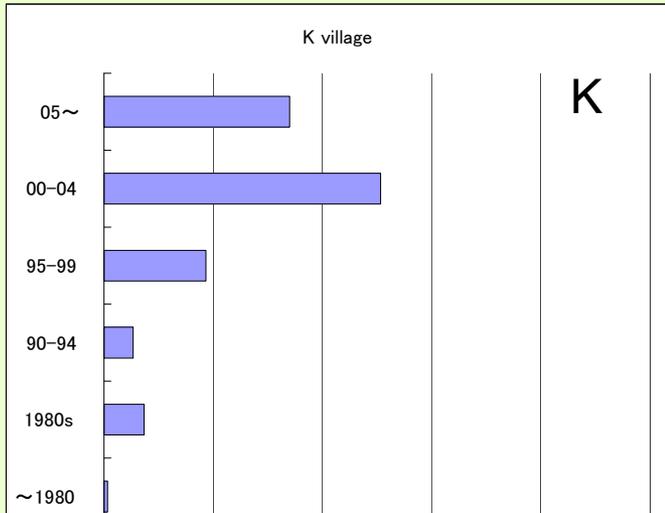
出稼ぎ先

教育レベル(就学年数)

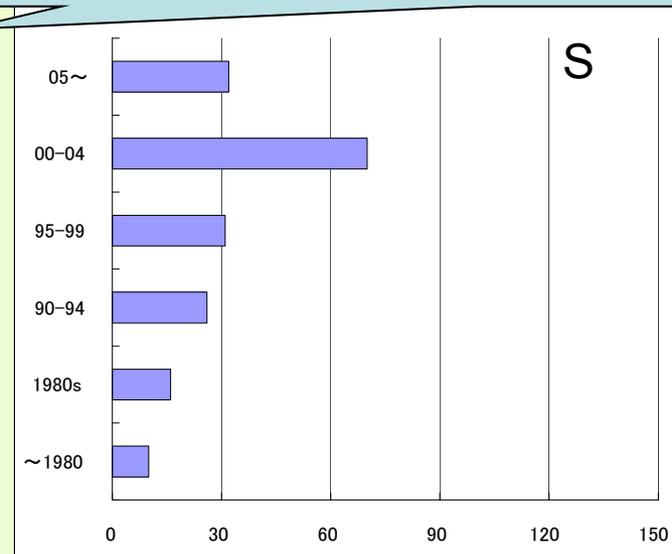
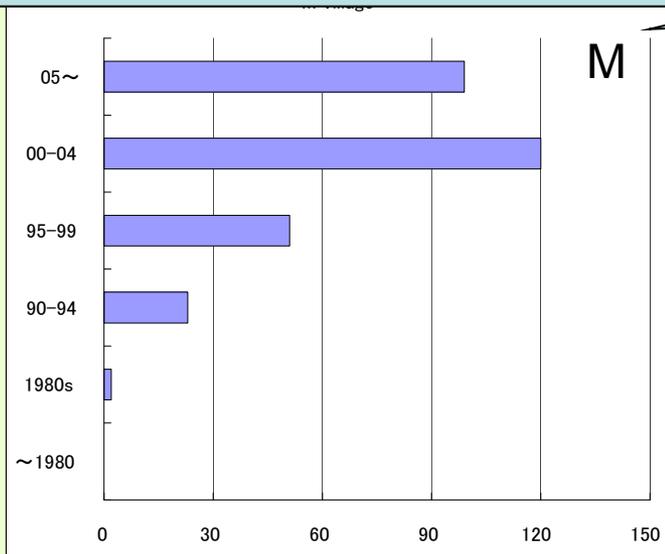
# 出稼ぎに出た年度



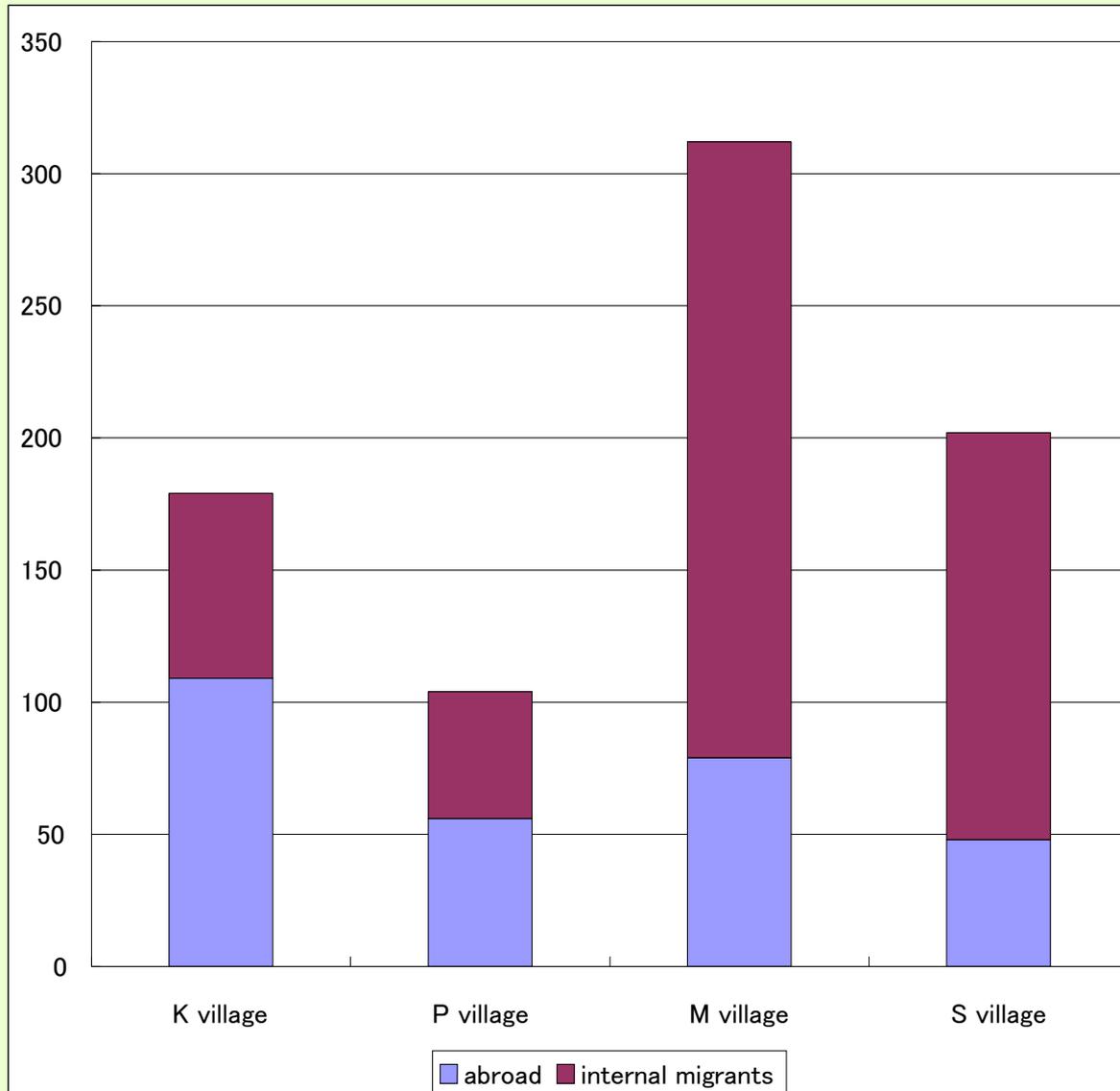
# 出稼ぎに出た年度



2000年代に入って増加傾向を示している。



# 出稼ぎ先(国内・国外)



# 出稼ぎ先(国別)

K village	P village	M village	S village
Saudi Arabia 39	Malaysia 14	Oman 16	UAE 15
Malaysia 16	Japan 9	Saudi Arabia 14	Malaysia 9
Bahrain 10	S Korea 9	Japan 12	Saudi Arabia 6
UAE 8	UAE 6	UAE 10	S Korea 6
Kuwait 6	Italia 4	Malaysia 7	Japan 5
Cyprus 5	Saudi Arabia 4	Italia 2	Singapore 4
Italia 5	Singapore 3	Kuwait 2	USA 4
Singapore 4	Cypros 2	Singapore 2	Canada 2
Oman 3	Germany 1	Bahrain 1	Australia 1
Germany 2	South Africa 1	Brunei 1	Italia 1
Algeria 1	Taiwan 1	Jordan 1	Jordan 1
USA 1	UK 1	Liberia 1	Kuwait 1
Unknown 8	Yemen 1	Unknown 9	South Africa 1
			Yemen 1

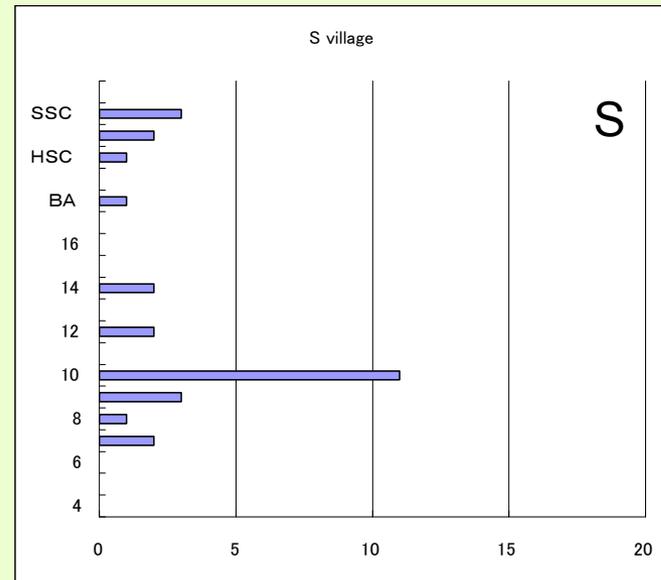
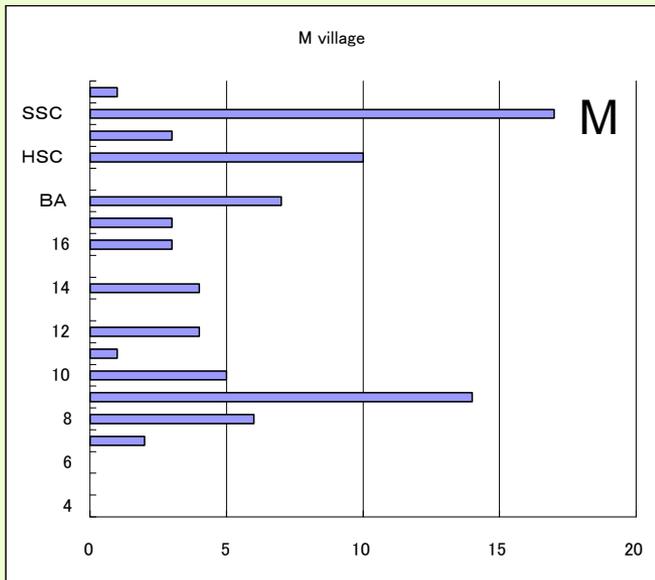
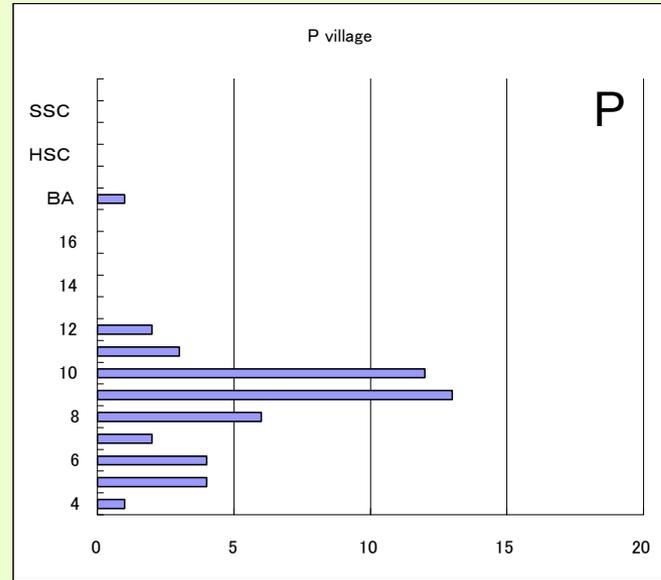
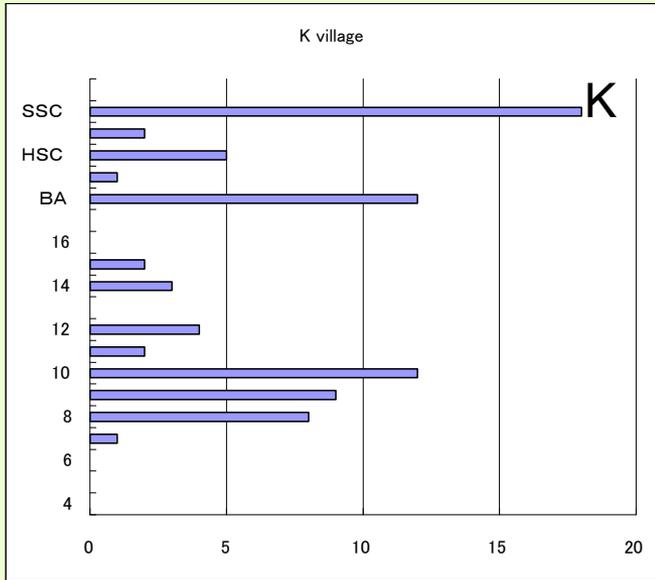
# 出稼ぎ先(国別)

K village	P village	M village	S village
Saudi Arabia 39	Malaysia 14	Oman 16	UAE 15
Malaysia 16	Japan 9	Saudi Arabia 14	Malaysia 9
Bahrain 10	S Korea 9	Japan 12	Saudi Arabia 6
UAE 8	UAE 6	UAE 10	S Korea 6
Kuwait 6	Italia 4	Malaysia 7	Japan 5
Cyprus 5	Saudi Arabia 4	Italia 2	Singapore 4
Italia 5	Singapore 3	Kuwait 2	USA 4
Singapore 4	Cypros 2	Singapore 2	Canada 2
Oman 3	Germany 1	Bahrain 1	Australia 1
Germany 2	South Africa 1	Brunei 1	Italia 1
Algeria 1	Taiwan 1	Jordan 1	Jordan 1
USA 1	UK 1	Liberia 1	Kuwait 1
Unknown 8	Yemen 1	Unknown 9	South Africa 1
			Yemen 1

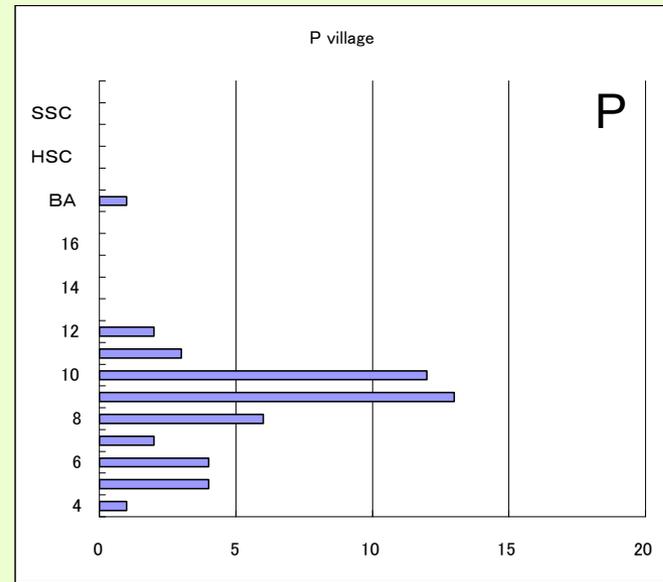
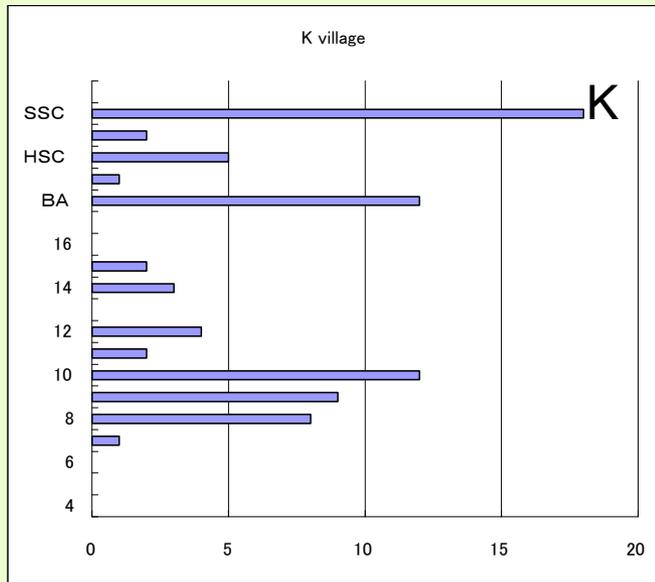
# 出稼ぎ先(国別)

K village	P village	M village	S village
Saudi Arabia 39	Malaysia 14	Oman 16	UAE 15
Malaysia 16	Japan 9	Saudi Arabia 14	Malaysia 9
Bahrain 10	S Korea 9	Japan 12	Saudi Arabia 6
UAE 8	UAE 6	UAE 10	S Korea 6
Kuwait 6	Italia 4	Malaysia 7	Japan 5
Cyprus 5	Saudi Arabia 4	Italia 2	Singapore 4
Italia 5	Singapore 3	Kuwait 2	USA 4
Singapore 4	Cyprus 2	Singapore 2	Canada 2
Oman 3	Germany 1	Bahrain 1	Australia 1
Germany 2	South Africa 1	Brunei 1	Italia 1
Algeria 1	Taiwan 1	Jordan 1	Jordan 1
USA 1	UK 1	Liberia 1	Kuwait 1
Unl	中東イスラム諸国への出稼ぎがもっとも多い。		

# 就学年数

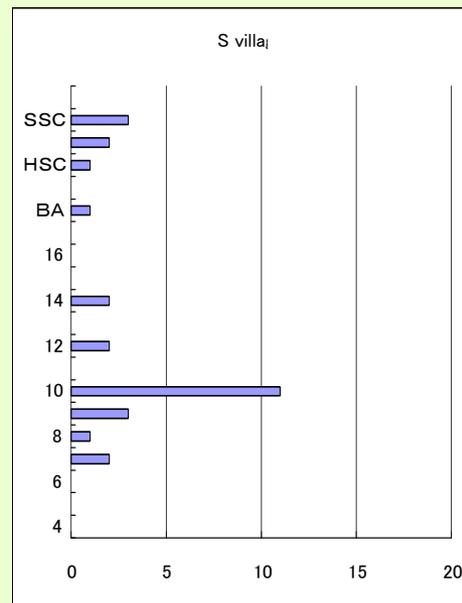
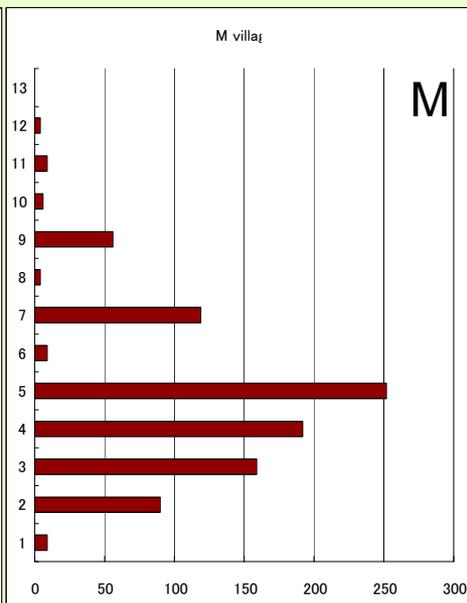
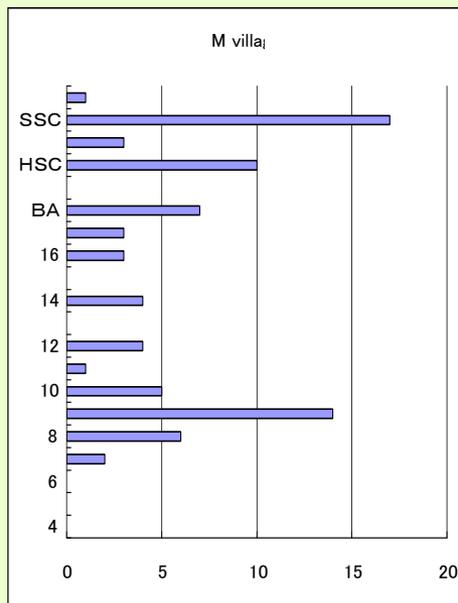
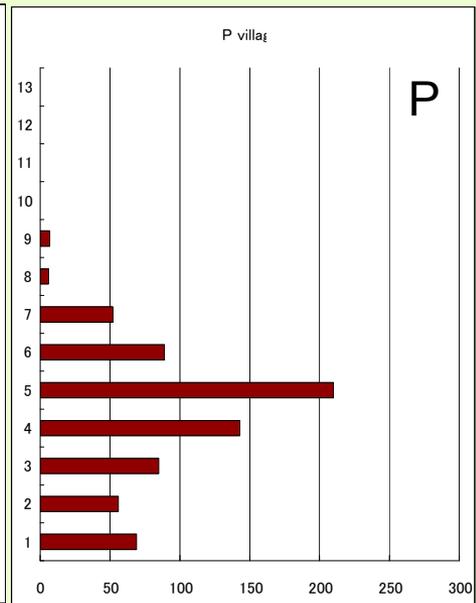
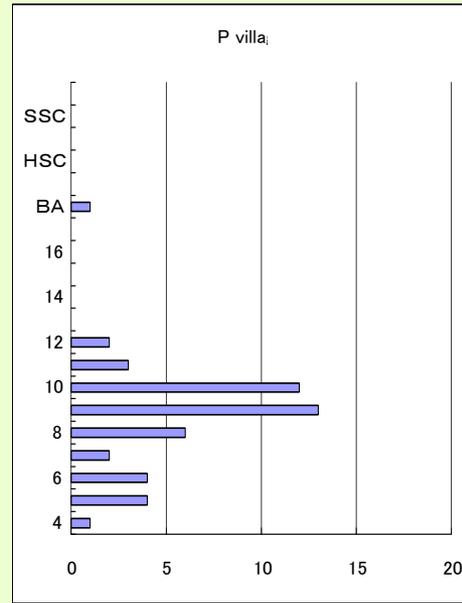
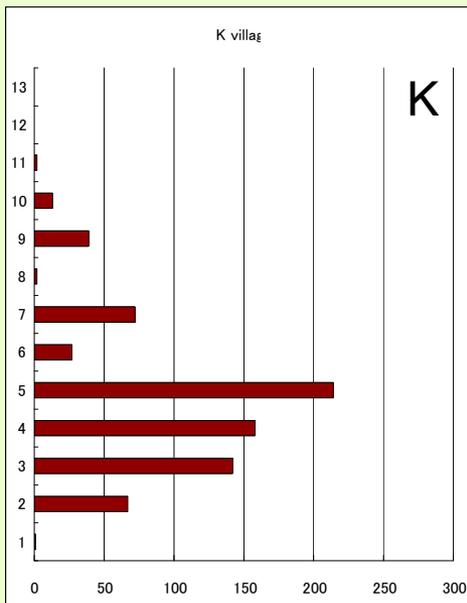
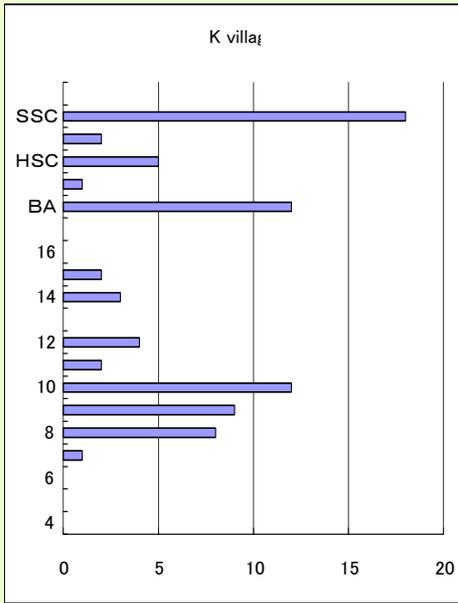


# 就学年数

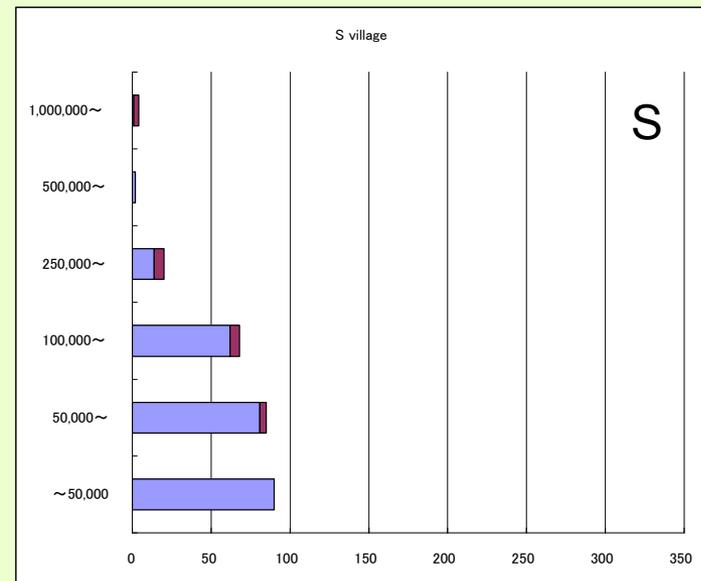
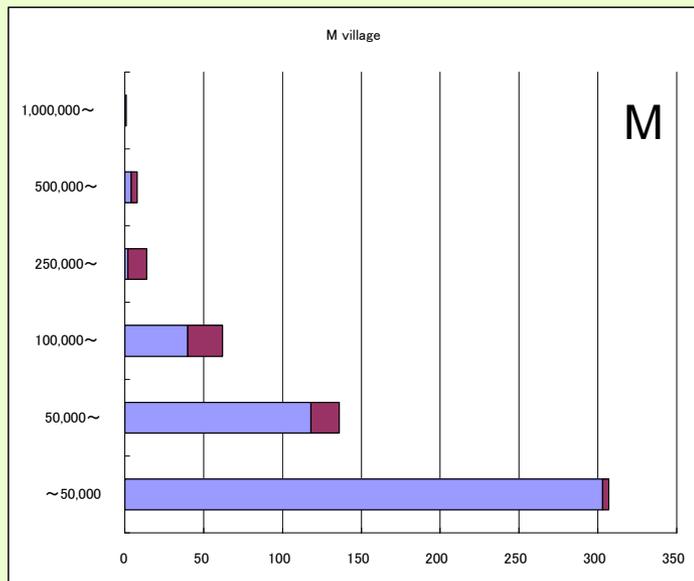
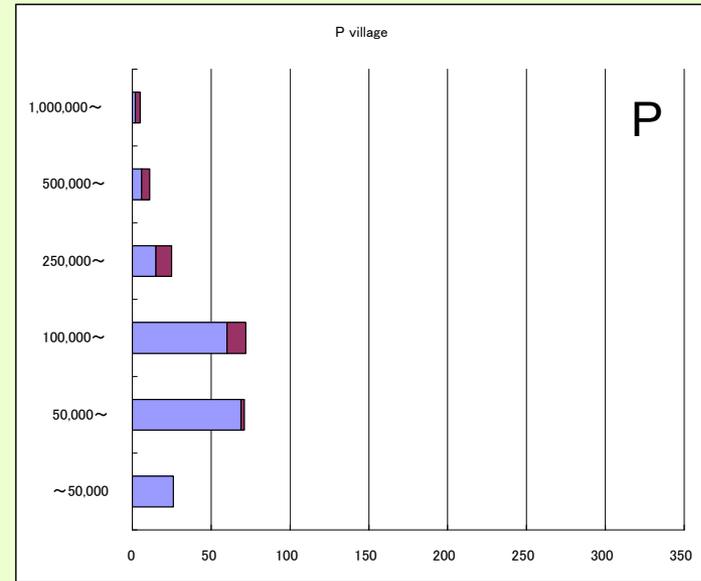
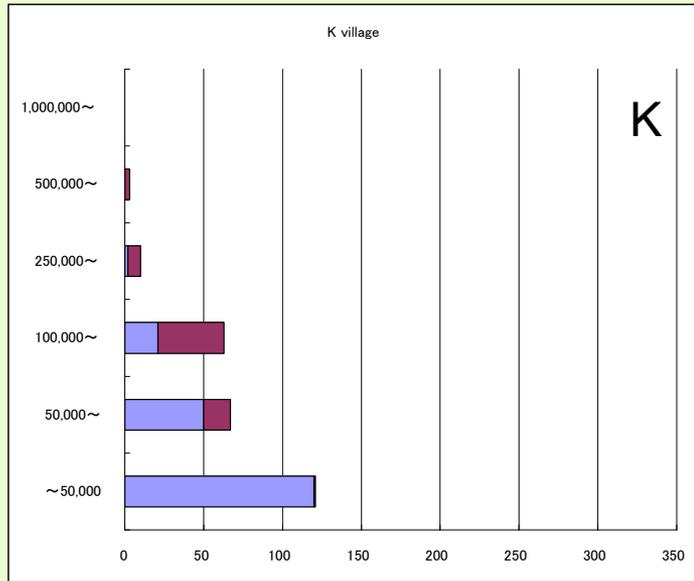


村のなかで、出稼ぎ労働者の教育レベルは相対的に高い。

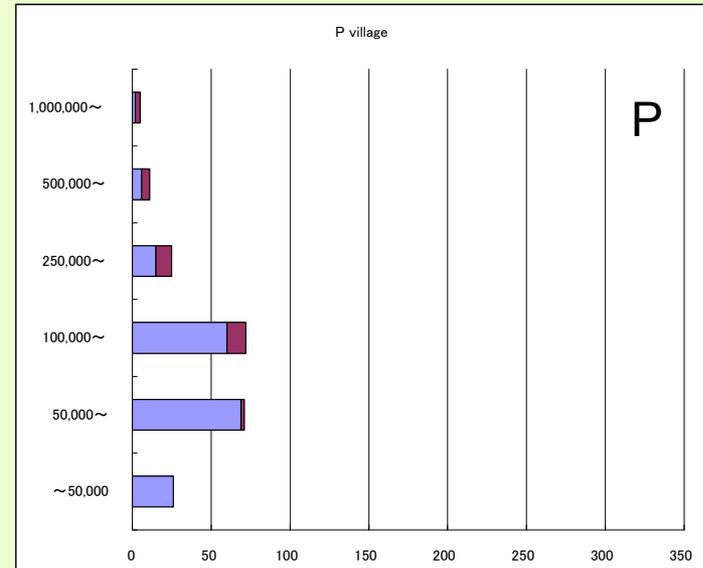
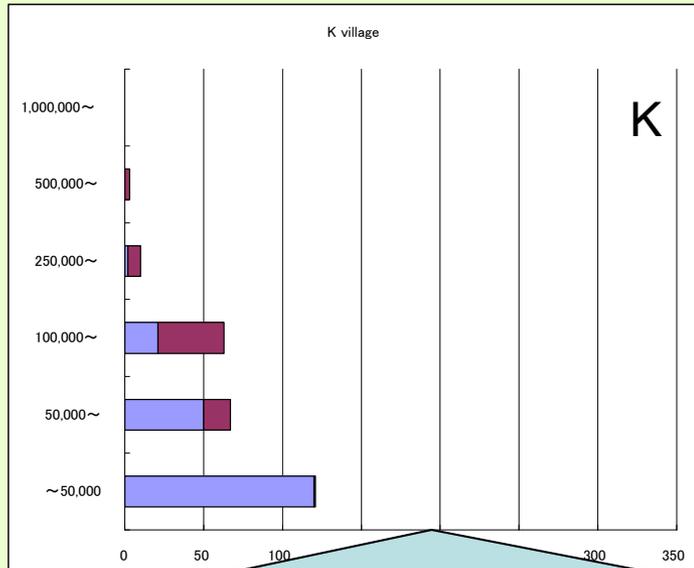
# 就学年数（出稼ぎ者と村全体の比較）



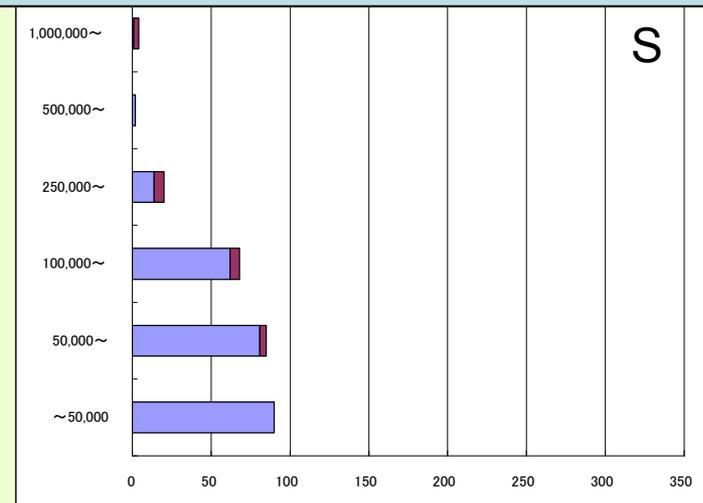
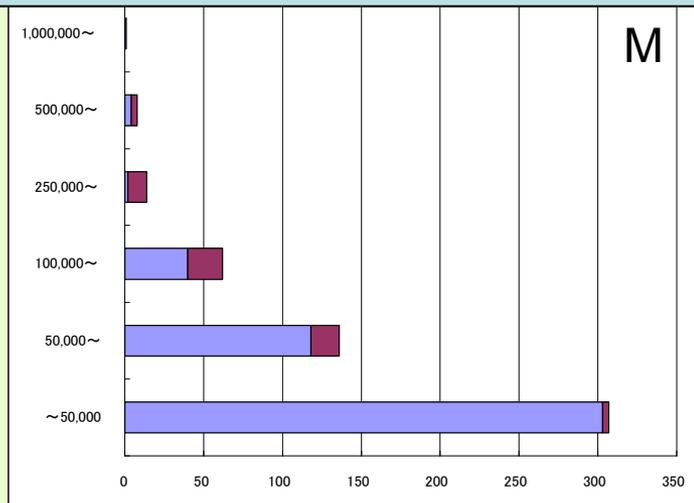
# 世帯の所得



# 世帯の所得

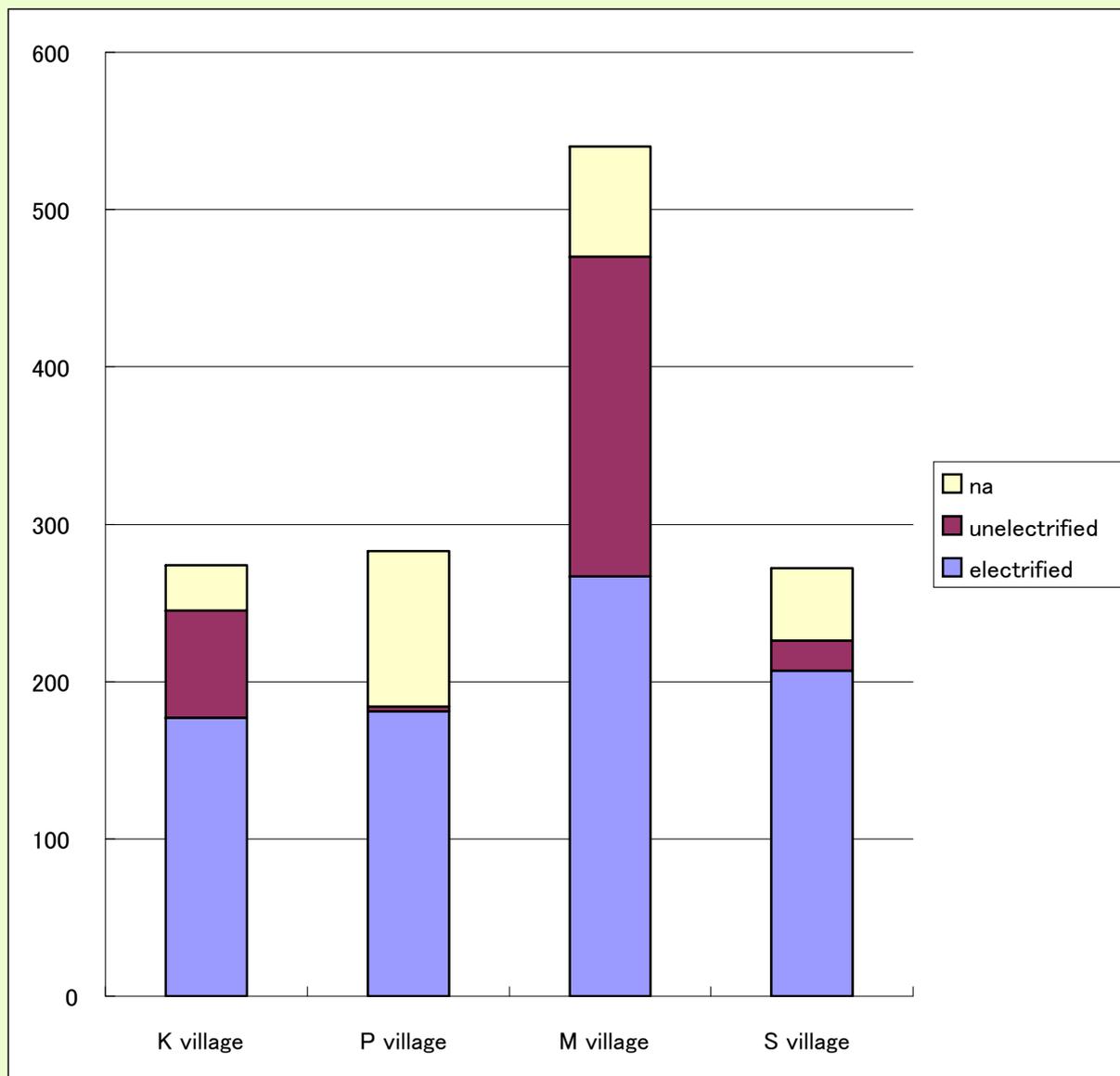


出稼ぎ労働者を出している世帯の収入は比較的高い。



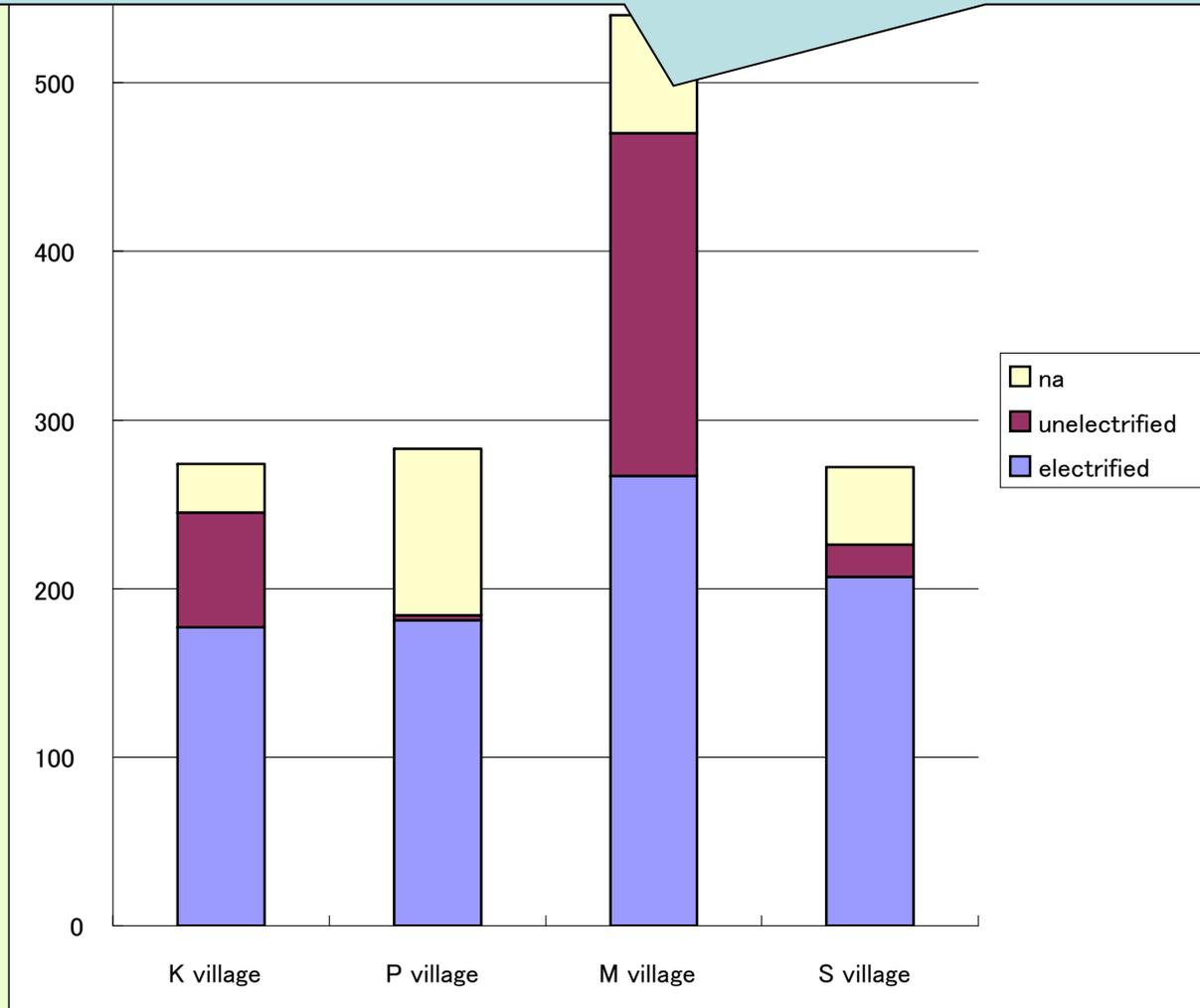
# 耐久消費財の所有状況

# 電化世帯の数



# 電化世帯の数

M村では、電気が通っている世帯の割合が少ない



# 耐久消費財の所有の割合

	K village	%	P village	%	M village	%	S village	%
radio	78	28.5	45	15.9	88	16.3	73	27.3
TV	123	44.9	146	51.6	177	32.8	159	59.6
phone	8	2.9	26	9.2	15	2.8	113	42.3
moble phone	242	88.3	268	94.7	248	45.9	163	61.0
PC	2	0.7	7	2.5	3	0.6	6	2.2
refrigerator	14	5.1	83	29.3	17	3.1	92	34.5
kichen microwave	0	0.0	4	1.4	0	0.0	1	0.4
sewing machine	21	7.7	13	4.6	39	7.2	21	7.9
washing machine	0	0.0	3	1.1	1	0.2	1	0.4
bicycle	24	8.8	23	8.1	29	5.4	5	1.9
motor bike	4	1.5	1	0.4	4	0.7	3	1.1
car	0	0.0	7	2.5	0	0.0	2	0.7

# テレビ、携帯電話、冷蔵庫の普及率

	K village	%	P village	%	M village	%	S village	%
radio	78	28.5	45	15.9	88	16.3	73	27.3
TV	123	44.9	146	51.6	177	32.8	159	59.6
phone	8	2.9	26	9.2	15	2.8	113	42.3
moble phone	242	88.3	268	94.7	248	45.9	163	61.0
PC	2	0.7	7	2.5	3	0.6	6	2.2
refrigeator	14	5.1	83	29.3	17	3.1	92	34.5
kichen microwave	0	0.0	4	1.4	0	0.0	1	0.4
sewing machine	21	7.7	13	4.6	39	7.2	21	7.9
washing machine	0	0.0	3	1.1	1	0.2	1	0.4
bicycle	24	8.8	23	8.1	29	5.4	5	1.9
motor bike	4	1.5	1	0.4	4	0.7	3	1.1
car	0	0.0	7	2.5	0	0.0	2	0.7

# テレビ、携帯電話、冷蔵庫の普及率

	K village	%	P village	%	M village	%	S village	%
radio	78	28.5	45	15.9	88	16.3	73	27.3
TV	123	44.9	146	51.6	177	32.8	159	59.6
phone	8	2.9	26	9.2	15	2.8	113	42.3
moble phone	242	88.3	268	94.7	248	45.9	163	61.0
PC	2	0.7	7	2.5	3	0.6	6	2.2
refrigerator	14	5.1	83	29.3	17	3.1	92	34.5
kichen microwave	0	0.0	4	1.4	0	0.0	1	0.4
sewing machine	21	7.7	13	4.6	39	7.2	21	7.9
washing machine	0	0.0	3	1.1	1	0.2	1	0.4
bicycle	24	8.8	23	8.1	29	5.4	5	1.9
motor bike	4	1.5	1	0.4	4	0.7	3	1.1
car	0	0.0	7	2.5	0	0.0	2	0.7

M村では、所有率が他に比べて低い。

# 農村の人口移動と社会階層

- 家族を外国へ出稼ぎに送るのは、貧困世帯ではない。外国行きの資金をねん出できる世帯である。
- 仕送りが家計に占める比率は大きく、村の経済階層で上位を占めるのは送金のある世帯である。
- 出稼ぎ労働者は、村全体の学歴水準から見れば高い教育水準にある。
- 日本への出稼ぎ世帯は中東への出稼ぎ世帯よりも社会階層が高い。

# M村の特徴

- 1980年代に多数の村人を日本へ送っていたムンシゴンジ県ではなく、コミラ県にある。
- 1990年代に入って多数の村人が日本へ出稼ぎに来るようになった。
- ムンシゴンジ県のS村、P村や、日本への出稼ぎ者を出していないK村と比較して、相対的に村全体の生活水準は低い。
- S村、P村が日本および韓国、台湾などへの出稼ぎ者を出しているのに対し、東アジアでは日本行きだけが突出している。

## 2. バングラデシュ聞き取り調査

- 日本への出稼ぎ者を出している村（M村、S村、P村）での留守宅訪問インタビュー
- ダッカでのM村出身の帰国者訪問インタビュー

# M村出身A氏とその家族へのインタビューより明らかにになったこと

- 兄弟や親戚の中の多数が滞日経験をもっている。
- 費用や手続きにおいて相互扶助がある。
- その延長上に、バングラデシュ側で日本語学校が設立されている。
- バングラデシュの日本語学校は、日本の日本学校へ入る予備校的存在となっている。

# 農村調査(世帯、聞き取り)から 得た知見

- 日本とバングラデシュを結ぶ日本語学校学生  
斡旋ビジネスが分業体制で出来上がっている。

### 3. 在日バングラデシュ人の調査

- 定住者への聞き取り調査（世帯形成が進んだ場合／単身で長期滞在の場合）
- エスニックマガジンの内容分析

ポロバシユ

日本在住の Bangladesh 人による বাংলা 語 雑 誌  
A Bangla magazine For Expatriate Bangladeshis  
জা পান থেকে প্রকাশিত দ্বি-মাসিক বাংলা কাগজ  
www.porobash.com

প্রবাসীদের কাগজ

বর্ষ : ৫  
সংখ্যা : ২  
আষাঢ়-১৪১৪  
জুন-২০০৭



- কিয়োটোতে ফুলবাড়ী প্রকল্প
- ড. হেনরী কিসিঞ্জারের সাক্ষাৎকার
- ধর্মীয় কলাম
- বাঁচতে হলে জানতে হবে : এইডস
- রিকভিশভ গাড়ি আমদানী নীতি
- আমাদের প্রবাস জীবন
- প্রবাসের দিনরাত্রি
- সময়-অসময়

日本語記事も掲載しています。お楽しみください。

# 在日バングラデシュ人の志向性 ～エスニックメディア分析より①～

- 記事に関して: 過剰なまでの自分たち**在日バングラデシュ人**社会と故国**バングラデシュ**への関心集中、それと対照的なまでの**ホスト社会(日本)**や**ホスト社会のマジョリティー(日本人)**への無関心

# 在日バングラデシュ人の志向性 ～エスニックメディア分析より②～

- 広告に関して: 在日同胞を顧客とした広告が大多数で、「名前を売る」ことが目的ではないかと考えられる事例が多数。
- エスニックメディアとして: 1世向け、典型的に短期滞在志向型で、「同人誌的」発想がベースに見られる。

# まとめ

## 研究成果

## 社会提言

### (1) 農村悉皆調査分析

仮説：海外出稼ぎ労働者は貧困層からは輩出されない。

調査のポイント：

在日バングラデシュ人の実態を出身国農村サイドから把握する。

結論：東アジアへの出稼ぎ労働者は、海外出稼ぎ労働者の中では相対的に富裕な階層に属する。

### (2) バングラデシュ農村聞き取り調査

仮説：海外出稼ぎ労働者は国別にネットワークを形成して動いている。

調査のポイント：

悉皆調査では把握できない詳細な背景を把握する。

結論：国別ネットワーク形成の背景で、語学学校が大きな役割を果たしている。

### (3) 在日バングラデシュ人聞き取り調査

仮説：定住者も母村・母国とのつながりを維持している。

調査のポイント：

国境を越えたバングラデシュ人コミュニティのネットワークを把握する。

結論：階層及び地方別での強固な結びつきが確認された。

定住者については日本人との婚姻関係にもかかわらず、日本社会よりは母国との結びつきが強固である。

・海外出稼ぎ労働者は移動先の国ごとに社会階層が異なる。東アジアには相対的に富裕な層が、中東イスラム諸国にはそれに次ぐ階層が移動し、相対的に貧困な層は国内の移動にとどまる。

・帰国者が新たな移民送り出しのネットワーク形成に寄与している。その際、イスラムという共通の宗教的紐帯を持つ中東諸国とは異なり、東アジアでは語学学校が大きな役割を果たしている。

バングラデシュ人のネットワークには階層別と出身地方別のものが認められた。一方、日本社会とのコミュニケーションにはなお問題が残されている。

在日バングラデシュ人労働者に対する認識の改善

帰国者を通じた途上国支援の方策の検討

外国人に対する日本語教育と労働者受入政策とのリンケージの可能性を模索

# 格差拡大の要因

- 資金の差が移動先を決定づける要因となり、移動先によって送金額に決定的な差が生じる。(国際移動には準備金が必要。準備金は移動先によって異なる)
- 日本への移動について言えば、80年代と90年代以降とで大きく異なる。したがって、受入国(日本)の入管制度が準備金の金額の差および移動する人々の階層差をもたらしたと考えられる。

# 日本文化の受容

1. バングラデシュの文化やイスラーム的慣習等と日本の文化との差異が大きいため、日本の文化を「積極的」に受け入れる素地が希薄である。
2. 同国出身者同士でのコミュニケーションを密にしているため、日本文化の「積極的」受容の必要性が限られている。

ただし、日本の国内法と慣習を遵守する姿勢は明確である。

# 資金による序列

- 「序列」があるのは明らかだが、それは単に資金だけではなく、教育レベル、英語の習熟度、出身地(国内の地域性)などの要因も関わっている。
- 今回の調査は日本への労働移動を輩出している村(地域)に限定したため、バングラデシュ全体の傾向および他国への移動との比較は、今回の調査からはできない。
- 出稼ぎの効果については、これまで多くの議論があり、決着がついていない。国内の所得分配を緩和するという指摘がある一方で、海外に出られない層との格差が開くという指摘もある。

# 政策提言

- 出入国管理政策を外国人統合政策とリンクさせる必要があるのではないか。



1. 質の高い日本語教育の提供
2. 日本人との結婚に依らずとも安定した在留資格が得られるべく、国籍法と在留資格のあり方の再検討

# 援助のあり方

バングラデシュ側の率直な「声」として、援助よりも労働者受け入れを、というものがある。

したがって、労働者受け入れの正規化と送金収入の農村内還元／再分配／雇用創出を考える方が望ましいのではないか。

この点については、政策提言（外国人政策への提言）とリンクして考える必要があるだろう。

# プロジェクト研究の今後の見通し

平成20年度から22年度までの科学研究費課題「南アジア周縁地域から日本への人的移動とネットワーク形成」で、在日バングラデシュ人コミュニティと在日ネパール人コミュニティの両者を視野に入れて、ネットワークを調査中。

いずれのコミュニティも日本を越えた東アジア、東南アジアへとネットワークの広がりが見られるため、将来的には、韓国やタイなどを視野に入れたプロジェクトを計画中。